

【10】児湯郡小体連（学校数 15 校 児童数 3,867 人）

I 年間事業

月 日（曜日）	事業名	内 容
5月8日（金） 佐土原総合文化センター	宮崎県小学校体育連盟 第1回評議員会 14:00～16:00	○（会長）・理事長出会
5月15日（金） 高鍋高校	第1回小・中・高体連合同理事会	○ 会長・（理事長）出会
5月29日（金） 佐土原総合文化センター	宮崎県小学校体育連盟 第1回理事会・専門部会 14:00～16:00	○ 理事長・研究部長・事業部長出会
6月16日（火） 通山小学校	第1回東児湯小学校体育研究会 15:00～16:30	○ 役員・会員の自己紹介 ○ 県小体連理事会報告 ○ 協議(事業計画 研究構想) 等
8月20日（木） 通山小学校	第2回東児湯小学校体育研究会 (14:00～16:30)	○ 協議(研究主題, 授業構想、指導案 検討について) ○ 水泳大会結果集約
8月17日（月） KIRISHIMA ヤマザ クラ宮崎県総合運動 公園	宮崎県小学校体育連盟 第2回理事会・専門部会・合同研修会 10:00～16:00	○ スポーツ事業委託金配付 ○ 県学体研における小学校部会指導 案検討(授業者出会)
10月20日（火） 通山小学校	第3回東児湯小学校体育研究会 ○ 事前研究会	○ 協議(研究授業及び事後研究会, 体 力向上対策協議会)
12月1日（火） 都農南小学校	第4回東児湯小学校体育研究会 ○ 研究授業 授業者（都農南小福田哲也教諭）	○ 研究授業 ○ 事後研究会
10月22日（木） 23日（金）	第56回宮崎県学校体育研究発表大会	○ 日南・串間地区主催
11月27日（金）	体力向上推進モデル校 研究公開	○ 真幸中校区
☆2月下旬 通山小学校	第5回東児湯小学校体育研究会 15:00～16:30	○ 協議(本年度研究のまとめと来年度 研究の方向付け, 来年度の役員, 情報 交換)
☆2月16日（火） 高鍋高校	第2回小・中・高体連合同理事会	○ 会長・理事長出会
☆2月5日（金） KIRISHIMA ヤマザ クラ宮崎県総合運動 公園	宮崎県小学校体育連盟 第2回評議員会 14:00～16:00	○ 各地区スポーツ事業報告 ○ 各地区の小体連の研究の取り組み ○ 研究発表大会のまとめ

（その他）

（☆…今後の予定）

- 新体力テストの実施
- スポーツ記録会（大会）の実施
- 体育実技研修（川南小）

II 事業部のあゆみ

- 児湯郡内における児童の体力向上のために、通信水泳記録会(5、6年生児童対象)、通信陸上記録会(6年生児童対象)を実施した。

平成27年度 東児湯小学校通信水泳記録会実施計画案

1 目的

- 各学校の水泳記録会の発表の場を通して、泳力向上の意欲を高めるとともに、他校の泳力の実態を知り、高学年児童の交流を深める。

2 対象

- 東児湯管内の小学校5、6年児童

3 募集記録

- 各学年 男女別 自由形 (25m・50m) 平泳ぎ (25m・50m) 4名以内
男女別 リレー (25m×4名)

4 実施方法

- 基本的に宮崎県小学校体育連盟標準記録認定要領(別紙参照)をもとに実施する。

5 応募方法

- (1) 各校の記録をデータでまとめ、都農南小学校(福田)までメールで送付する。
- (2) 締め切りを8月10日までとする。
- (3) 事業部で記録を集約し、8月の体育主任会で結果を報告する。
- (4) 各種目、1位から3位まで表彰する。

平成27年度 東児湯小学校通信陸上記録会実施計画案

1 目的

- 各学校の陸上(50m走・ソフトボール投げ)記録会の発表の場を通して、体力向上の意欲を高めるとともに、他校の運動能力の実態を知り、高学年児童の交流を深める。

2 対象

東児湯管内の小学校6年児童

3 募集記録

男女ともに50m走とソフトボール投げの記録を測定する。

4 実施方法

(1) 50m走

- 基本的に文部科学省が定めた「新体力テスト実施要項」をもとに実施する。

(2) ソフトボール投げ

- 基本的に文部科学省が定めた「新体力テスト実施要項」をもとに実施する。

- 投球のフォームは自由であるが、できるだけ「下手投げ」をしない方がよい。また、ステップして投げたほうがよい。

5 応募方法

- (1) 各校の記録をデータでまとめ、都農南小学校(福田)までメールで送付する。
- (2) 締め切りを8月10日までとする。
- (3) 事業部で記録を集約し、8月の体育主任会で結果を報告する。
- (4) 各種目、1位から3位まで表彰する。

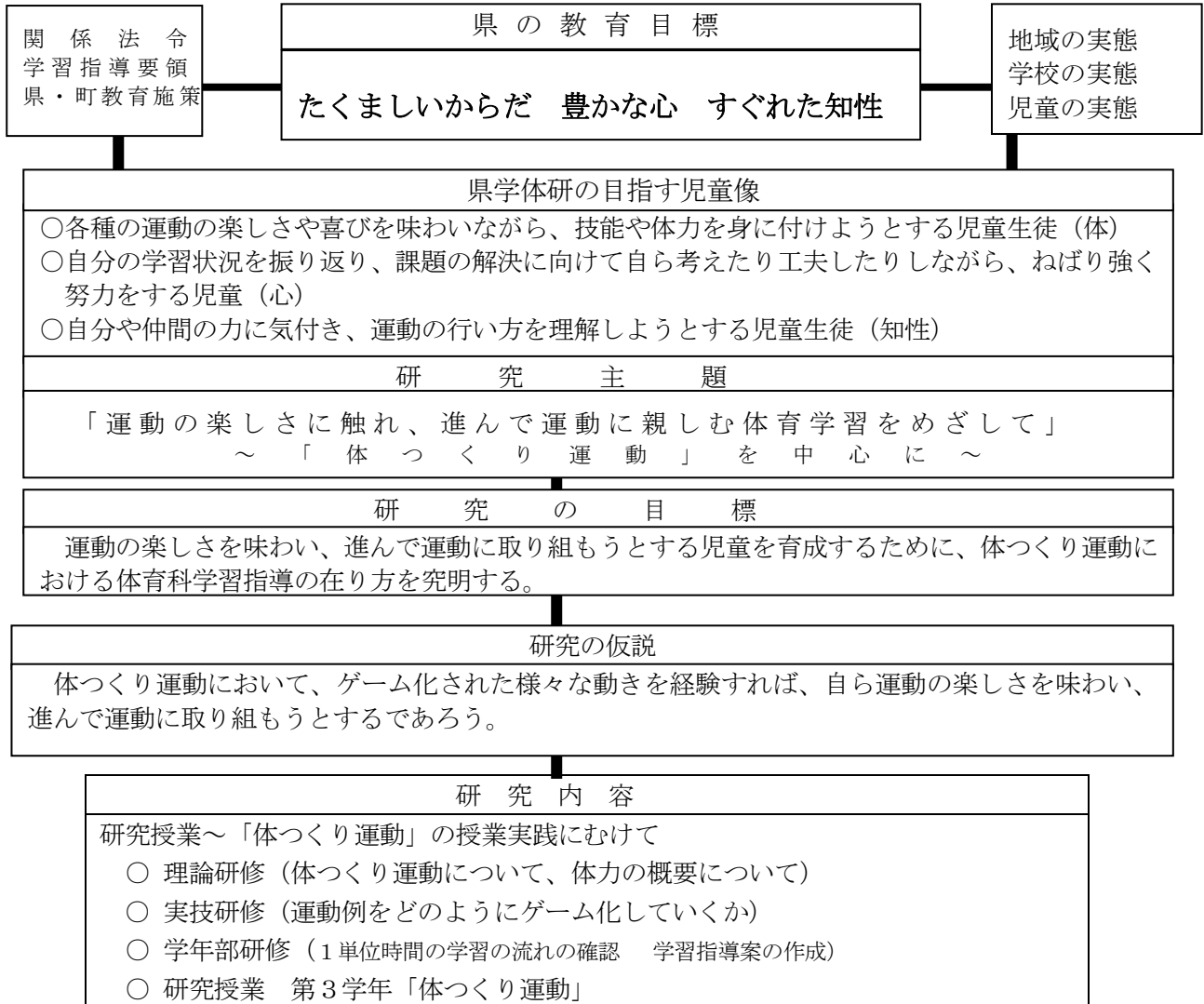
Ⅲ 研究部のあゆみ

1 研究主題

「運動の楽しさに触れ、進んで運動に親しむ体育学習を目指して」

～「体づくり運動」を中心に～

2 研究の全体構想



3 研究内容

(1) 理論研修

- 体づくり運動について

「体ほぐしの運動」「多様な動きをつくる運動（遊び）」「体力を高める運動」

(2) 実技研修

- ゲーム化するための実技研修

(3) 学年部別研修

- 年計の確認等

(4) 研究授業

- 体づくり運動（多様な動きをつくる運動）

4 研究の実際

(1) 理論研修

○ 体づくり運動について

「多様な動きをつくる運動遊び」「多様な動きをつくる運動」「体力を高める運動」について運動のねらいや特性について研修を行った。「多様な動きをつくる運動（遊び）」「体力を高める運動」の行い方、計画と実践例の表を参考に理論を深めていった。

(2) 実技研修

○ ゲーム例の開発

各校の先生方の指導経験や様々な資料を活用しながらゲーム例の開発を行った。少人数のグループに分かれて「体のバランス」「体の移動」「用具の操作」「力試し」「組み合わせる」それぞれの動きを高めるための方法とそれに伴って、どのようなゲーム性を取り入れたらよいかを考えた。

(3) 学年部別研修

○ 学習指導案の作成

授業実践に向けて学習指導案の作成を行った。研究仮説が実証されるような展開を考え指導案を作成した。

(4) ゲーム化された運動を取り入れた研究授業

- ・ 平成27年12月1日に授業実践を通して研究仮説の検証を行った。
- ・ 単元 「体づくり運動」（多様な動きをつくる運動）
- ・ 学年 第3学年
- ・ 会場 都農町立都農南小学校



【学習の様子①】



【学習の様子②】



【学習の様子③】

5 成果と課題

(1) 成果

- ・ ゲーム性を取り入れることで、児童同士のかかわりが増え、意欲的に運動に取り組む児童を育成することができた。
- ・ 様々なゲーム例を開発したことで、様々な運動に親しみ、楽しみながら進んで活動する児童を育成することができた。

(2) 課題

- ・ 指導と評価の一体化という視点から、評価のあり方について、今後検証していく必要がある。
- ・ 言語活動の充実を図るために、よりよい学習展開を構築していく必要がある。

IV まとめ

- 様々な動きを1つ1つ教えながら自分の課題に合ったものを選択してだけでなく、ゲーム性を取り入れることで更なる意欲の向上に結びつけることができた。
- 児湯郡内の児童の体力向上を目指した通信制水泳記録会及び陸上記録会を実施できた。
- 各町の体力面の課題点を共有し、改善を図るための方策を検討する必要がある。
- 次年度からは、何年間か継続したテーマで研究を進めていく必要がある。